

## 2 令和2～3年度の研究について

令和2年度の研究では…

### 特別支援学校における 自分らしい生き方の実現に向けた取組 —ICT活用による児童生徒の思いや願いを 叶える実践を通して—

ICT活用による実践は、児童生徒の思いや願いを叶え、学校生活や家庭生活を支えるとともに、自分らしい生き方の実現に向けた取組になることが分かった。



令和3年度の研究では…

### 特別支援学校における自分らしい生き方の 実現に向けた取組の充実 —児童生徒が主体性を発揮する、 ICT活用による実践を通して—

児童生徒の強みを生かしたICT活用による実践を積み重ねることで、児童生徒がこれまで以上に主体性を発揮し、自分らしい生き方の実現に向けた取組が充実した。



## 5 Q&A

これまで、児童生徒が実物等に触れ、体験的に学ぶことを大切にしてきました。ICTを授業に取り入れる必要はあるのでしょうか？

ICTを効果的に授業に取り入れることで、児童生徒が苦手なことやできないことをICTに任せたり、できることをさらに伸ばしたりすることができます。その際、「ICT機器に児童生徒を合わせる」のではなく、「児童生徒にICT機器を合わせる」ことが大切です。

ICTに対して苦手意識があり、なかなか授業に取り入れることができません。どのようなことから始めるとよいですか？

周りの先生方と相談したり、御自身で機器に触れたりすることで、どのような機能があるのかを知るところから始めましょう。そうすることで、児童生徒が困っているときに「こんなやり方もあるよ」と提案できるようにになります。  
3年間の研究における実践は、県総合教育センターのHP内にあります。また、センターの研修を受講することで、「こんな使い方もできるのか!」と知っていただけたと思います。

児童生徒のICT活用について、どのような視点で記録すればよいか分かりません。参考にできるものはありますか？

令和5年度の研究会において、研究委員から挙げられた「各校のICTを活用した指導や支援を継続するために記録することが望ましい情報」を整理し、「児童生徒のICT活用に関する基本情報」として下記の表のように分類しました。論文に他の内容も記載していますので、是非参考にしてください。

児童生徒のICT活用に関わる基本情報(研究論文より一部抜粋)

分類	普段のICT活用状況	操作スキル	情報モラル
内容	・家庭での活用状況 ・学校での活用状況 等	・文字の入力方法 ・端末の操作 等	不確かな情報は保護者等に相談しているか 等

研究内容の詳細、シート類のダウンロードはこちら  
(県総合教育センターHP内の各ページがひらきます)

令和2年度  
● 研究論文(実践事例)

令和3年度  
● 研究論文(実践事例)

令和5年度  
● 研究論文(実践事例)  
● 研究で活用したシート  
・アセスメントシートA  
・プロジェクトシート

Check!

NPO法人支援機器普及促進協会(ATDS)のHPはこちら

ATDS

研究に御協力いただいた高松崇氏が理事長を務められています。「研修会・プレゼン資料」の中では、iPadのいろいろな機能やアプリケーションの紹介をしておられます。プロジェクト研究会で御講義いただいた際の資料等も御覧になれます。

## 特別支援学校における 自分らしい生き方の実現に向けて

令和2年度、3年度、5年度  
特別支援教育  
ICT活用プロジェクト研究



- ### MENU
- 1 研究の概要
  - 2 令和2～3年度の研究について
  - 3 令和5年度の研究について
  - 4 自分らしい生き方の実現に向けた取組のあり方
  - 5 Q&A

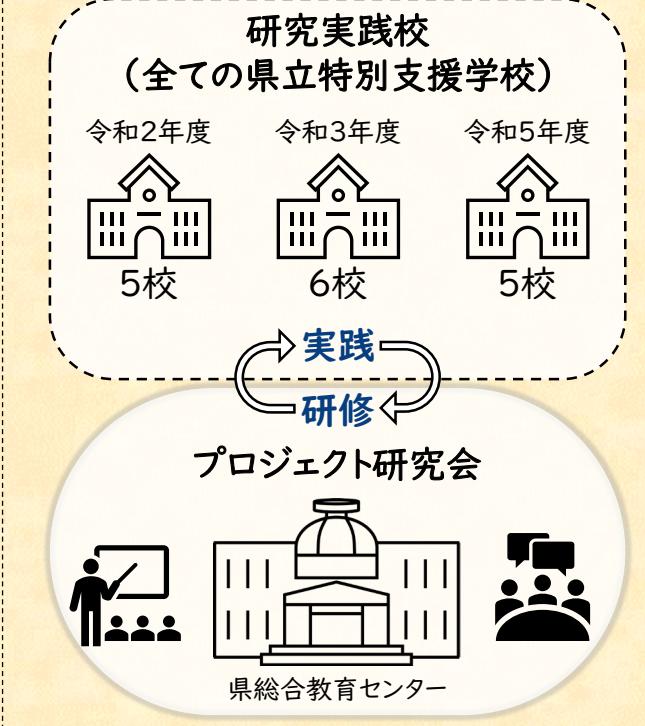


SPEC 滋賀県総合教育センター  
Shiga Prefectural Education Center

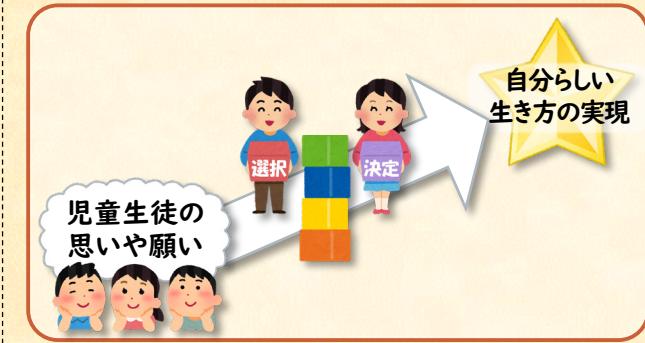
## 1 研究の概要

### 特別支援教育ICT活用プロジェクト研究について

研究実践校での実践と、県総合教育センターでの研修を往還しながら、全ての県立特別支援学校を対象に取り組んできました。



### 3年間、共通して大切にしてきたこと



児童生徒が自らの思いや願いを叶えようとしながら、自己実現に向けて選択したり決定したりする経験を積み重ねていくことで、自分らしい生き方の実現を目指してきました。



実物等で体験的に学ぶという従来の実践とICTを効果的に組み合わせた取組を進めました。その際、ICTを活用することが目的とならないように気を付けてきました。

# 3 令和5年度の研究について

## 令和5年度の研究では…

### 特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けたICT活用による取組のあり方

—児童生徒の思いや願いを叶える組織的・継続的な取組—

「実践の過程」を積み重ねるとともに、組織的・継続的な取組について整理することで、特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けたICT活用による取組のあり方を示すことができた。

#### 各校での取組の様子

1人1台端末や、GIGAスクール構想で整備された現有する機器を活用して実践を進めました。



生徒の主体的な活動を促す取組



複数の指導者による実態の捉え直しを実践に生かした取組



副籍校との連携を図ることで他校の児童と学ぶ機会を設定した取組



生徒自身がICT活用を選択する場面を設定した取組



伝える手段の一つとしてICTを活用した取組

各校での取組の詳細は、研究論文に記載しています。最後のページにある二次元コードから御覧ください。

実践

研修

#### プロジェクト研究会の様子



#### 指導者質問紙調査より

生徒の実態の認識に差が生じないよう、複数の教員と情報の共有を密にすることが大切だと感じた。

デジタルとアナログを、必要に応じて正しく取り入れたり、組み合わせたりすることが大切だと感じた。



指導者

3年間の成果はこちら!!

是非御覧いただき、児童生徒の自分らしい生き方の実現に向けて、組織的・継続的に取り組む際の参考にしてください。

# 4 自分らしい生き方の実現に向けた取組のあり方

## 自分らしい生き方の実現



「実践の過程」を組織的・継続的な取組として積み重ねる



実践や日常生活の中で児童生徒が見せるありのままの姿を基に、実態を捉え直す

#### POINT

- ・授業だけでなく、部活動等の他の活動での姿を情報として再度収集することで、よりの確に実態を捉え直すことができる
- ・児童生徒の思いや願いと実践内容がかけ離れたものになっていないかの確認を行う

実態の捉え直し



実施した指導や支援について分析し、評価や課題を記入することで、継続されるべき内容や改善が必要なポイント等を見出す

#### POINT

- ・うまくいかなかったことを記録しておくことで、同じ失敗を予防することにつながる

分析・評価



児童生徒の姿や使用した教材・教具・機器等を記録する

#### POINT

- ・画像や映像を活用することで、より正確に情報を記録し、引き継ぐことができる
- ・見られた行動や発した言葉等で具体的に児童生徒の姿を記録することで、客観的な分析につながる

記録



児童生徒の思いや願いを基に指導内容を構想し、実践する

#### POINT

- ・指導者が「どのような場面で活用できるのか」ということを理解して実践を進めることで、児童生徒は機器や状況が変わった場合でも対応できるようになる

構想



児童生徒の「今の姿」から実態を的確に捉え、そこから児童生徒の思いや願いをくみ取ったり理解したりする

#### POINT

- ・複数の指導者で実態把握に取り組むことで、児童生徒の「今の姿」の情報を多面的・多角的に収集できる
- ・児童生徒の思いや願いを共有することで、将来の姿を見据えた組織的な実践につながる

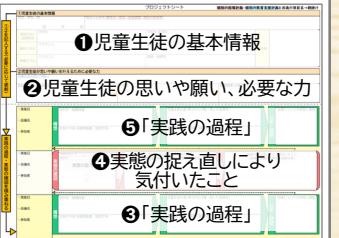
実態把握



「実践の過程」

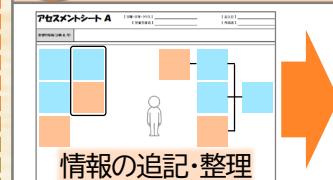
### プロジェクトシートの活用②

- ④実態の捉え直しにより気付いたことを記入する
- ⑤以前の「実践の過程」の評価や、捉え直した児童生徒の実態を踏まえて、次の「実践の過程」を記入する



必要に応じて個別の指導計画、個別の教育支援計画に活用できるよう、同じ項目名を使用しています。

### アセスメントシートAの活用②



どんな変化があるかな  
以前の姿と比べてみよう



- ・1枚のシートに情報を書き加えていくことで、児童生徒の変化の連続性や関連性についても整理する
- ・実践や日常生活の中で児童生徒が見せるありのままの姿を複数の指導者が出し合い、協働して整理することで、実態を捉え直す

### プロジェクトシートの活用①

- ①児童生徒の障害の状態等に加え、ICTに関する基本情報として「普段のICT活用状況」「操作スキル」「情報モラル」を記入する
- ②児童生徒が思いや願いを叶えた将来の姿(長期目標)と「今の姿」を比較し、必要な力(短期目標)を記入する
- ③「実践の過程」を記入する



### アセスメントシートAの活用①



- ・指導者は、各自が捉えている児童生徒の姿や、児童生徒の関係者から収集した情報を出し合い、「今の姿」から実態を的確に捉える
- ・具体的な事柄(児童生徒が見せる行動や発する言葉)で記入する

#### 組織的な取組とは

児童生徒の自分らしい生き方に向けて、複数の指導者が情報を共有しながら、協働して指導や支援を構想・実施すること

#### 継続的な取組とは

児童生徒に対して行った指導や支援の内容について、継続されるべき内容や改善が必要なポイント等の情報を蓄積していくこと

組織的・継続的な取組とするための手立て